アジア太平洋都市サミット　ニューズレター
No.22　　2013 年　8 月号

目次

今年のアジア太平洋都市サミットのプログラムが発表されました・・・・・・・・・・・・・・・・・1
熊本市の紹介・・2
国連ハビタット福岡本部だより（連載 1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
会員都市からの寄稿　使用済み小型電子機器回収事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
今後のアジア太平洋都市サミットの会議予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅰ　第 11 回アジア太平洋都市サミット 熊本会議 のプログラムが発表されました

熊本市から会員都市の皆様へ，第 11 回アジア太平洋都市サミット熊本会議のご案内が届いているかと思いますが，概要をニューズレターにも掲載いたします。

1　会議概要 （7月9日現在）

(1) 開催期間
平成 25 年 10 月 31 日(木)
～11 月 2 日(土)

(2) テーマ
くらしやすい都市づくり
サブテーマ:
～安心で，住みやすく，
働きやすいまちづくり～

(3) 使用言語
4ヵ国語
英語
中国語
韓国語
日本語

(4) 参加見込み
約 35 都市 150 人
会員都市
友好姉妹都市等

ほか会議傍聴者

10月31日(木)　歓迎レセプション

15:00～17:00	各市代表　市長表敬訪問
19:00～	歓迎レセプション

11月　1日(金)　本会議・夕食会　　会場:ホテル日航熊本

9:00～9:15 (10分) (5分)	本会議開会式 主催都市あいさつ　熊本市長 提唱都市あいさつ　福岡市長
9:15～9:35 (20分) 9:35～10:05 (30分)	基調講演 国連ハビタット福岡本部　本部長　深澤良信氏 特別講演 サンアントニオ市長　フリアン・キャストロ氏
10:05～10:20	休憩
10:20～11:10 5都市×10(分)	各市発表（市長） 発表　1～5
11:10～12:00 (50分)	意見交換
12:00～13:30	昼食
13:30～14:20 5都市×10(分)	各市発表（市長・副市長） 発表　6～10
14:20～15:20 (60分)	意見交換
15:20～15:35	休憩
15:35～16:10	総括 会議総括，　共同宣言採択，　議決事項 その他 会議開催予定都市あいさつ 閉会
16:10～16:30	写真撮影
16:50～17:10	記者会見
18:30～20:30	夕食会

11月2日(土)　シティ・ツアー
コース1　9:30～16:00，　コース2　9:30～12:00

2　各市の発表について

※詳細は熊本市からの案内の添付文書をご参照ください。

発表テーマ	くらしやすい都市づくり	テーマ全般にわたる発表と，サブテーマから重点的に取り組む分野を選択する発表方法があります。
発表時間	各都市 10 分程度を予定	発表を希望する都市の数により変更の可能性があります。
発表原稿の提出方法	・スクリーン投射用の資料は Power Point format で提出してください。 ・読み原稿も提出をお願いします。 ・中国，韓国及び日本の都市は母国語と英語。それ以外の都市は英語で提出をお願いします。（スクリーン投射用及び読み原稿）	

Ⅱ　熊本市の紹介

熊本市は，快適な都市機能と豊かな自然や歴史・文化が調和する都市です。是非，皆さん体感しに来てください！

熊本市は日本列島の南，九州の中央に位置し，福岡市から新幹線を利用すると約 30 分でアクセスが可能です。

人口は約 73 万人。熊本城をはじめとする伝統ある歴史や文化，清らかな地下水と緑に恵まれ，快適な都市機能と豊かな自然が調和する都市です。

「日本一暮らしやすい政令指定都市」を目指したまちづくりに取り組んでおり，熊本市民が暮らしやすさをもっと実感できるように，防災や子育て，医療サービス体制の充実，地下水の保全など，安心安全なまちづくりを進めています。

熊本市民の水道水源は 100%天然地下水です。これは人口 50 万人以上の都市としては日本唯一。熊本市民はみんな，豊富で良質な地下水の恩恵を受けています。

熊本市では，壮大な大自然の力と人々の努力によって築かれた，かけがえのない遺産ともいえる大切な資源を後世へ受け継ぐため，守り育む取り組みを続けています。この取り組みが評価され，今年 3 月に国連　生命の水大賞を受賞しました。

清らかな水と恵まれた自然環境に育まれた熊本産の農水産物。産出額も日本有数ですが，品質と鮮度が高く，安全で美味しいことも自慢です。サミット会期中は，これらの農水産物を堪能していただけるお料理をご用意していますので，お楽しみに！

アジアで初めて，世界で 1,000 番目に認定を受けた，アジア唯一のフェアトレードシティです。

来年 3 月には，フェアトレードタウン国際会議が熊本で開催されます。

築城の名手として有名な武将・加藤清正が，1601 年から 7 年の歳月をかけて築いた城で，日本三名城の一つに数えられています。

※11 月 2 日のシティツアーでは，コース１，コース２のいずれにおいてもご案内する予定です。

世界でも有数の大きさを誇るカルデラを有する阿蘇。「阿蘇くじゅう国立公園」に指定されている美しい草原は，毎年行われる野焼きなど，人の手によって大切に守り，受け継がれてきたたまものです。

地域内には，活火山，水源，温泉などがあり，多様に大自然を満喫することができます。

※シティツアー　コース１でご案内予定です。

Ⅲ　国連ハビタット福岡本部だより（連載１）

★今年のアジア太平洋都市サミットで基調講演をいただく国連ハビタット福岡本部から，活動についてご紹介いただきます。★

〇国連ハビタットとは？

・国連ハビタットは 1978 年にケニアのナイロビで設立されました。正式名称を「国際連合人間居住計画」といい，国連システムの中で主に居住の分野を担っています。

※国連ハビタットのロゴマークは，人，住まい，世界を意味しています。

・国連ハビタットは「急激な都市化への取り組み」を活動方針に掲げ，
① スラム地域の改善や，貧困の削減
② 災害，紛争後の住宅復興，生活インフラ整備
③ 各国政府や自治体に対する政策提言，人材育成
など幅広い活動を行っています。

〇国連ハビタット福岡本部

・国連ハビタットの中でアジア太平洋地域 28 ヵ国を統括する地域本部は，1997 年に日本の福岡に置かれました。（他に，ケニアのナイロビにアフリカ地域事務所，ブラジルのリオデジャネイロにラテンアメリカ・カリブ海地域事務所があります。）
　福岡本部では約 20 名の職員がそれぞれの担当国・地域事業を管理運営しています。現在実施中のプロジェクトは 80 ヵ所，14 ヵ国にわたり，現地では約 1,400 名の職員が活動しています。

・アジア地域では急速な経済成長の一方で，地域間・都市間・都市内の格差が拡大しています。農村から都市への人々の流入により都市の人口は急激に増加していますが，都市のインフラや基本サービスが追いつかず，スラムの拡大や社会的不均衡の拡大，水・ゴミ・衛生など生活環境の悪化，自然環境への負担増など深刻な都市問題が生じています。
　そこで，そのような都市における持続的な取り組みとして，スラムの改善や貧困削減，コミュニティの自立的運営による都市環境の改善を行うほか，政府・自治体に対する政策提言などを行っています。

・同時に，この地域は自然災害に対して脆弱であり，また紛争の絶えない地域でもあります。スマトラ沖地震津波，パキスタン大地震や洪水，ミャンマーのサイクロン，アフガニスタンやスリランカの紛争などは記憶に新しいところです。
　そこで，災害・紛争により破壊された住宅の復興や生活インフラの再建，人々の自立のための教育・訓練などの復興事業にも力を入れています。

（次号からは，具体的なプロジェクトをいくつかご紹介したいと思います。）

UN-HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE

Ⅳ　使用済み小型電子機器回収事業

★★★ 会員都市（福岡市）からの寄稿 ★★★

携帯電話・ポータブル音楽プレーヤーなど（レアメタルのリサイクル）

携帯電話などをはじめとする小型電子機器には，貴重な金属資源である金，銀，銅やパラジウムなどの多くのレアメタル（希少金属）が含まれています。日本で１年間に発生する使用済小型電子機器は約 65 万トン，そのうち有用金属は約 28 万トンもあり，金額換算すると 800 億円にものぼると推計されています。不用になった小型電子機器からこれらの金属を抽出すれば資源として再生利用することができるため，「都市鉱山」とも呼ばれています。

2010 年 6 月から，福岡市は北九州市や民間企業と連携し，小型電子機器の回収のモデル事業を行ってきました。福岡市では，この使用済み小型電子機器回収事業を今年度から本格実施することとしており，今年度中に既存の 41 ヵ所の回収ボックスに加え，各区役所，地下鉄の駅，市内のスーパーなどに新たに 25 ヵ所への増設を予定しています。

この回収事業では，市民が回収ボックスに投函した小型電子機器を，リサイクル事業者へ引き渡し，選別，破砕，精錬の工程を経てレアメタルなどの希少金属を抽出します。

2012 年度は，約 1,800kg の小型電子機器を回収し，抽出した金属は新たな製品の部品や原材料として再生利用されました。

今後は，市民に，使わなくなったり，壊れてしまった携帯電話，ポータブル音楽プレーヤーなどの回収について協力を呼びかけ，資源のリサイクルを本格的に推進していきます。

【担当課】福岡市環境局資源循環推進課

回収の流れ

★会員都市の担当者の皆様 ： 寄稿をお待ちしています。

貴市のトピックスや新規事業，都市問題の解決のヒントとなるような貴市における課題解決の取組みなど，お気軽に情報をお寄せください。

（ニューズレターは，アジア太平洋都市サミットのウェブサイトに掲載し，会員都市などへ email 送信しております。）

今後のアジア太平洋都市サミットの会議予定

開催時期	会議名，テーマ	開催都市
2013 年 10 月 31 日 ～11 月 2 日	第 11 回市長会議 テーマ:くらしやすい都市づくり ～安心で，住みやすく，働きやすいまちづくり～	熊本市 （日本国）
2014 年 7月（予定）	第 10 回実務者会議 テーマ:バランスのとれた暮らしと持続可能な生活（予定）	バンコク都 （タイ王国）
2015 年 （予定）	第 12 回市長会議 テーマ:都市においての青少年への施策（予定）	ウラジオストク市 （ロシア連邦）

アジア太平洋都市サミット ： Asian-Pacific City Summit は，アジア太平洋地域の都市問題の解決に向け，市長会議や実務者による会議等を通じて，都市の連携やネットワークの構築を図っています。

アジア太平洋都市サミット会員都市　13 ヵ国 30 都市

オークランド市（ニュージーランド）
バンコク都（タイ王国）
ブリスベン市（オーストラリア連邦）
釜山広域市（大韓民国）
長沙市（中華人民共和国）
大連市（中華人民共和国）
福岡市（日本国）
広州市（中華人民共和国）
光陽市（大韓民国）
ホーチミン市（ベトナム社会主義共和国）
香港特別行政区（中華人民共和国）
ホノルル市（アメリカ合衆国）
イポー市（マレーシア）
ジャカルタ特別市（インドネシア共和国）
済州特別自治道（大韓民国）
鹿児島市（日本国）
北九州市（日本国）
クアラルンプール市（マレーシア）
熊本市（日本国）
マニラ市（フィリピン共和国）
宮崎市（日本国）
長崎市（日本国）
那覇市（日本国）
大分市（日本国）
浦項市（大韓民国）
佐賀市（日本国）
上海市（中華人民共和国）
シンガポール（シンガポール共和国）
ウルムチ市（中華人民共和国）
ウラジオストク市（ロシア連邦）

【編集・発行】 2013 年 8 月 5 日　アジア太平洋都市サミット事務局（福岡市総務企画局国際部）
〒810-8620　福岡市中央区天神 1-8-1　TEL: 092-711-4028　FAX:092-733-5597
E-mail: apcs@city.fukuoka.lg.jp　Website: http://apcs.city.fukuoka.lg.jp/